

令和5年度

インターンシップ総括



実施地域

福知山市・綾部市・舞鶴市・丹波市市島町

京都府立工業高等学校

目次

1	インターンシップ推進地域及び本校の概要	・・・ 1
2	インターンシップのテーマ	・・・ 2
3	インターンシップ支援地域連携協議会の組織及び活動状況	・・・ 2
4	インターンシップの実施	・・・ 3
5	成果と課題	・・・ 4

1 インターンシップ推進地域及び本校の概要

(1) 推進地域の概要

ア 地域名及び人口（令和5年12月現在）

福知山市	75,343人
綾部市	31,526人
舞鶴市	76,838人
丹波市市島地域	8,147人

イ 地域の特色（産業、地域経済等）

福知山市は平成18年に大江町・三和町・夜久野町の3町を編入合併して現在に至る。福知山市・綾部市・舞鶴市は、京都府北部の経済・文化の中心地であり、交通アクセス面でも、京阪神方面へは舞鶴若狭自動車道が通じ、日本海側には北海道小樽港をはじめ海外とも定期航路を持つ舞鶴港があり、産業拠点としての立地条件に恵まれた地域である。

京都府立工業高等学校は福知山市の長田野工業団地に隣接し、他にも綾部工業団地、アネックス京都三和、舞鶴の工業団地など多くの企業が立地する地域にある。

(2) 本校の概要

ア 沿革

昭和38年度に京都府立石原（いさ）高等学校として開校し、設置学科は機械工学科、原動機工学科、電気工学科、電子工学科の4学科であったが、昭和51年度に設置学科の名称を機械科、原動機科、電気科、電子科に変更した。

平成2年度に京都府立工業高等学校に校名変更を行うとともに、機械プランニング科、生産システム科、電気エネルギー科、電子コミュニケーション科、情報システム科の5学科に改編した。そして、平成30年度入学生からは、今後の工業技術の進展に対応できる技術者を育成するため、機械テクノロジー科、ロボット技術科、電気テクノロジー科、環境デザイン科、情報テクノロジー科の5学科に改編した。

イ 教育方針 校 訓 「信義・創造・実践」

教育目標

- 1 個性の伸長と能力の開発につとめ、豊かな人間性を培い、国家及び社会の有為な形成者として必要な教養を身につけた人間を育成する。
- 2 高度技術化社会に対応できる知識と技術を備え、豊かな創造力のある実践的な技術者を育成する。
- 3 国際化時代に対応できる豊かな国際感覚を身につけた人間を育成する。

ウ 学級数及び在籍生徒数（全学年 15 学級 496 名、令和 6 年 1 月現在）

学 科	機 械	ロ ボ ッ ト	電 気	環 境	情 報	計
1 年（5 学級）	36	34	33	27	35	165
2 年（5 学級）	34	31	24	34	36	159
3 年（5 学級）	33	34	36	35	34	172
合 計	103	99	93	96	105	496

2 インターンシップのテーマ

「地域とともに発展する学校づくりをめざして」

3 インターンシップ支援地域連携協議会の組織及び活動状況

(1) 組織

令和 5 年度インターンシップ支援地域連携協議会

(社)長田野工業センター	専務理事 嗟峨根 正和 様
(社)綾部工業団地振興センター	専務理事 土井 渡 様
福知山商工会議所	事務局長 有牛 悠希生 様
綾部商工会議所	事務局長 芦谷 匡哲 様
舞鶴商工会議所	中小企業相談所 所長 桐村 達也 様
福知山市商工会三和支所	経営支援員 西山 祐子 様
北京都ジョブパーク	課長補佐 廣瀬 和男 様
綾部市役所農林商工部	商工労政課 課長 荻野 達徳 様
福知山市産業政策部	産業観光課 課長 大江 秀也 様
京都府中丹教育局	指導主事 倉内 邦行 様
福知山市教育委員会	学校教育課長 八瀬 正雄 様
綾部市教育委員会	学校教育課長 齊藤 さおり 様
京都府立工業高等学校 P T A	会長 織田 修司 様
京都府立工業高等学校	校長 須貝 義和

事務局

京都府立工業高等学校	副校長 野村 善之
京都府立工業高等学校	副校長 宮部 和真
京都府立工業高等学校	事務長 中田 昭二
京都府立工業高等学校	進路指導部長 福井 ひとみ
京都府立工業高等学校	進路指導部 日暮 裕

(2) 活動状況

令和5年5月22日(月)第1回インターンシップ支援地域連携協議会

令和5年度インターンシップの実施計画について

令和5年度受入事業所の状況について

令和6年1月29日(月)第2回インターンシップ支援地域連携協議会

令和5年度インターンシップ事業報告

令和6年度インターンシップについて

情報交換 等

4 インターンシップの実施

(1) 事前準備

ア 依頼事業所の確認 令和5年2月

イ 事業所への依頼 令和5年2～3月

(2) 実施要項

- ア 目的
- 1 勤労観・職業観の育成と職業適性や将来設計について考えさせる機会とし、職業選択能力を養わせる。
 - 2 事業所等の現場において実践的な知識や技術・技能に触れさせ、学校における学習への理解の深化、意欲の喚起を図る。
 - 3 生徒が教職員や保護者以外の大人と接する機会を通じて、異世代とのコミュニケーション能力の向上を図る。
 - 4 就業体験を通じて、地元の地域事業所との相互理解を深めさせ、地域社会に貢献できる人材を育成する。

イ 内容 生徒が自らの学習内容や将来の進路に関連した就業体験を行う。京都府内では最大規模の実施で、22年目となる。

ウ 実施期日 令和5年7月3日(月) ～ 7日(金)

エ 実施日数 原則5日間

オ 実習時間 8時30分 ～ 17時00分

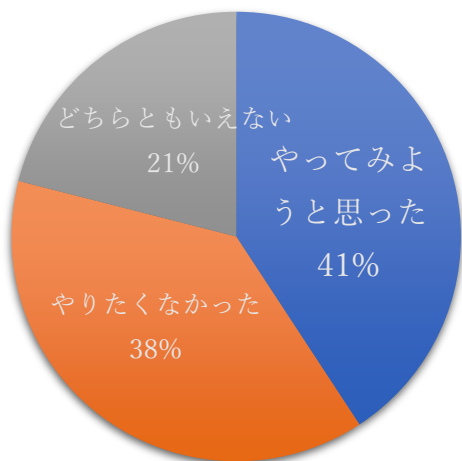
カ 対象生徒 2年生 159人

キ 協力事業所数 福知山市54社、綾部市23社、舞鶴市6社、
丹波市市島町2社、宮津市1社、
綾部市役所関係2ヶ所、京都府1ヶ所
福知山市役所関係5ヶ所
合計94事業所

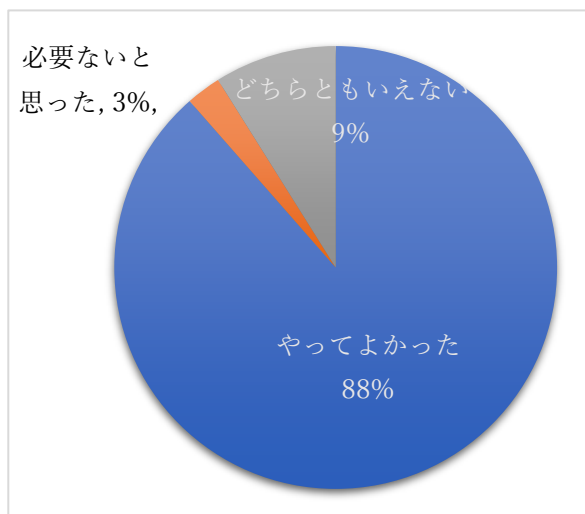
5 成果と課題

(1) インターンシップを体験した2年生のアンケート結果

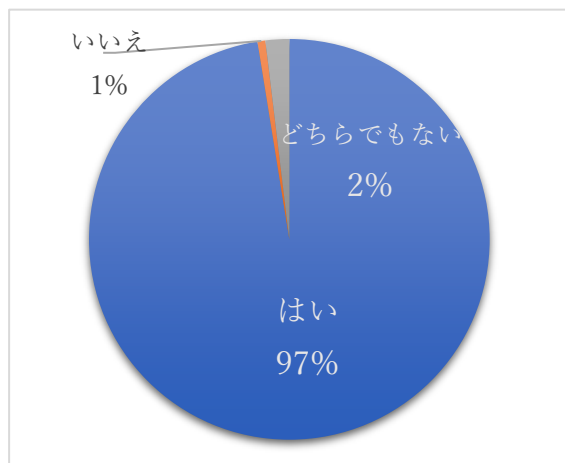
ア インターンシップを体験する前の気持ち



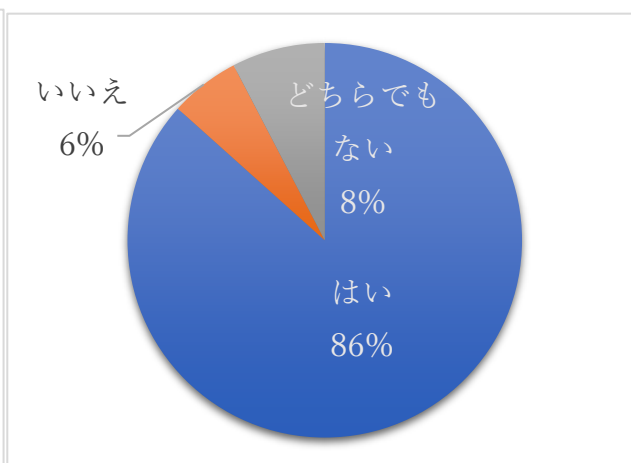
イ インターンシップを終わってみての気持ち



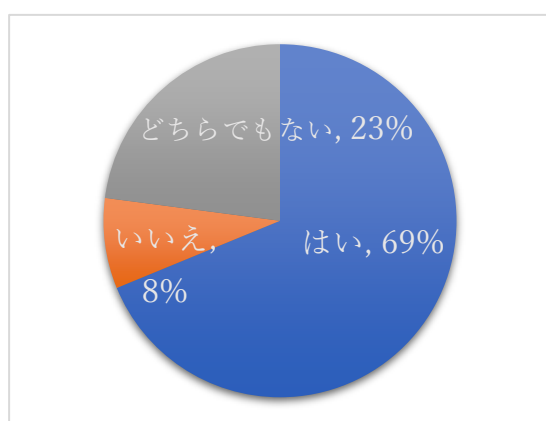
ウ 働くことについて考える機会となりましたか



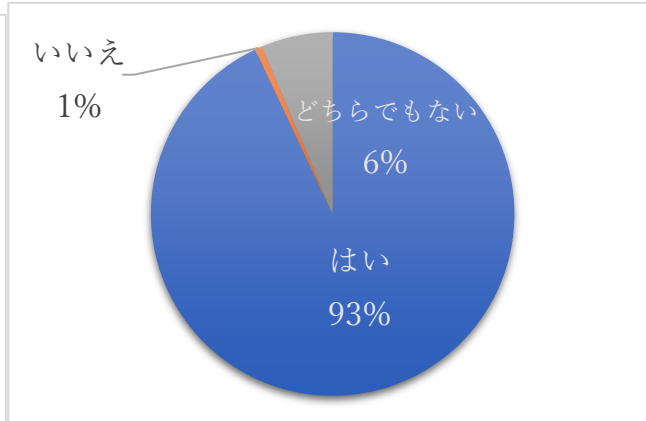
エ 進路選択の参考になりましたか



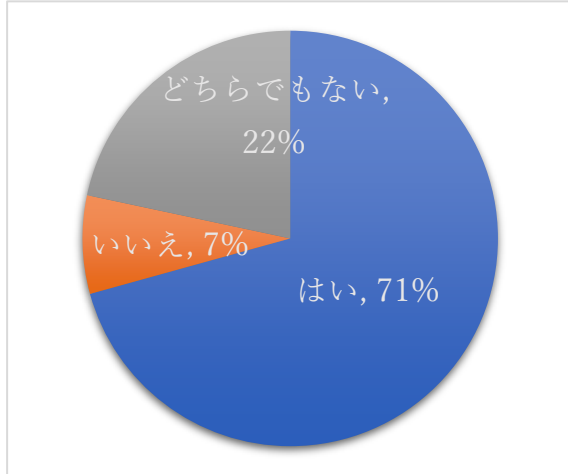
オ 学習への意欲と関心がでてきましたか



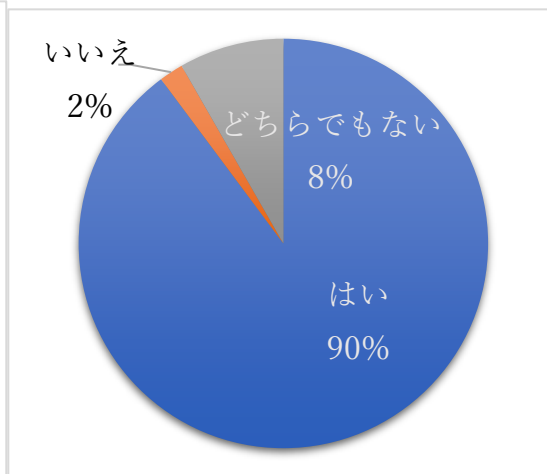
カ 職場の方々とコミュニケーションはとれましたか



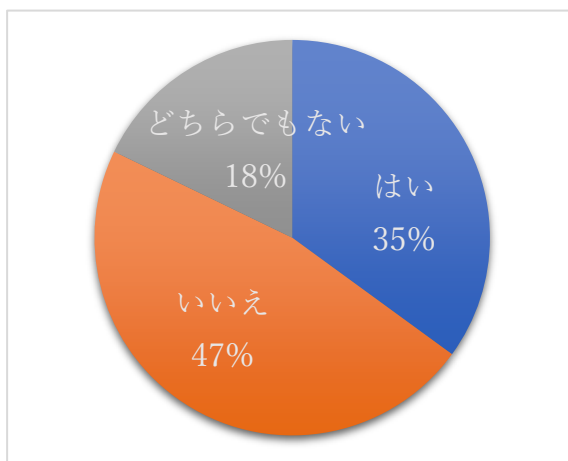
キ 専門分野の知識が豊かになりましたか



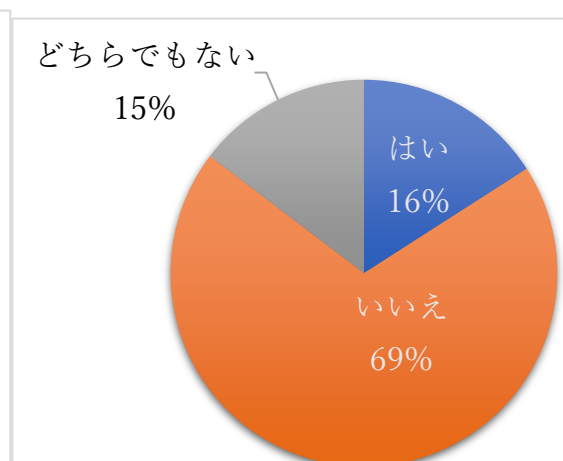
ク 充実した体験ができましたか



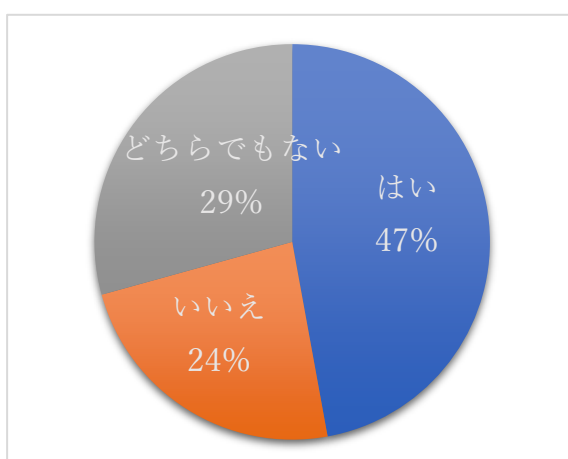
ケ 期間中体力的に辛いことがありましたか



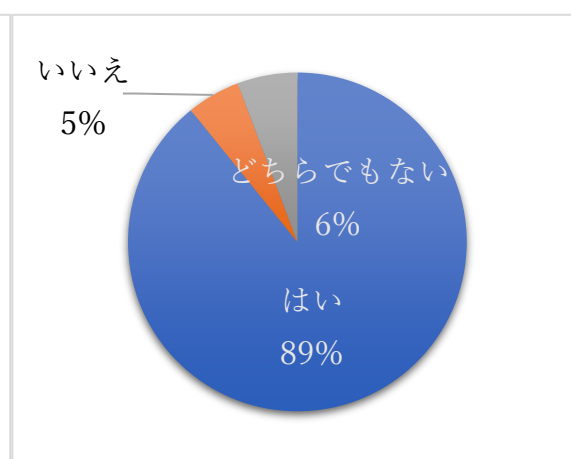
コ 期間中精神的に辛いことがありましたか



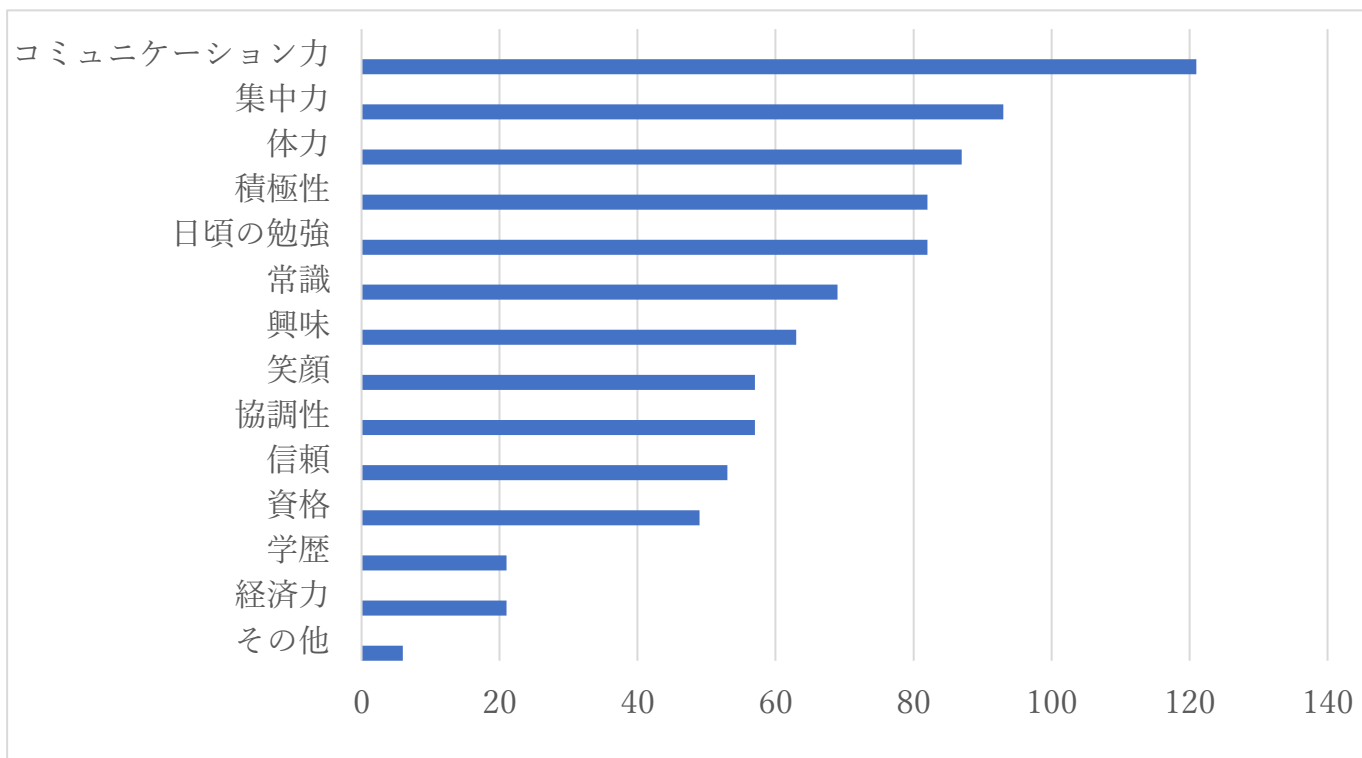
サ 期間中嬉しいことがありましたか



シ 積極的に取り組むことができましたか



ス インターンシップに参加してこれから自分にとって何が必要だと感じましたか（複数回答可）

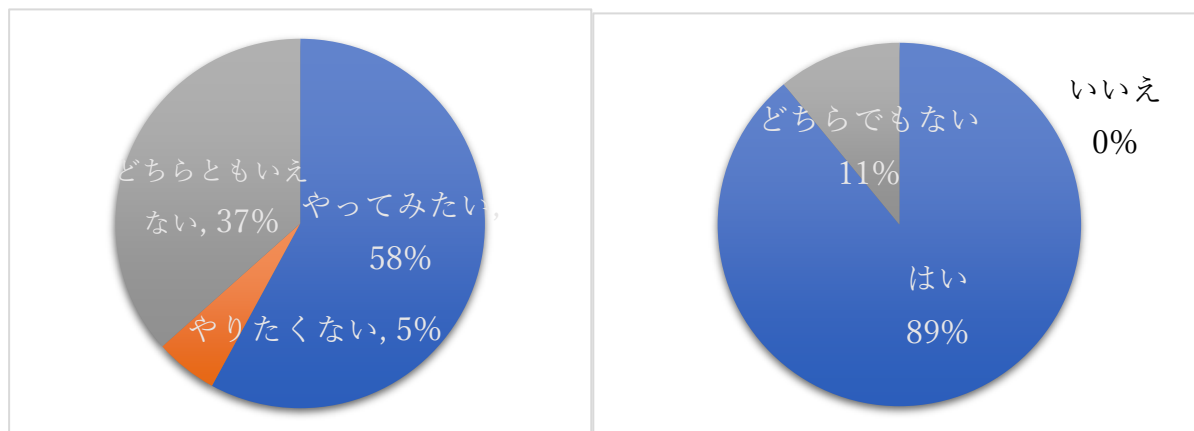


(2) 生徒がインターンシップで得たもの、感じたこと（抜粋）

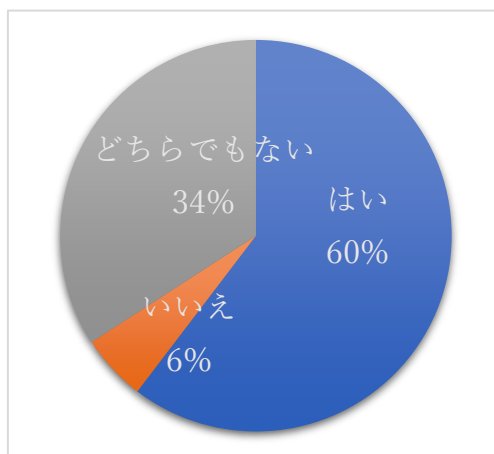
- ・仕事をする上で一番大切なことは仕事に対する意欲と礼儀だと思いました。仕事に対する意欲があれば一つ一つの作業を丁寧に行うことができ、その分ミスもなくなると思います。そして礼儀ではすれ違う人に挨拶をしたり、ささいなことでもお礼をいうなど当たり前のことを当たり前にすることが大切だと思います。
- ・仕事をするということは、学校で習った知識や技術を活かしていくものようだから、仕事が「できる」のは当たり前で、その上をどんどん求められるようになるので、学校生活で学ぶ知識や技術を活かせるように勉強をもっと頑張っていきたいと思いました。
- ・何よりも大切なのは信頼をもって仕事をする事だと学びました。危険で間違えると取り返しがつかない作業や業務などを含め、分からない時に誰かを頼り、正確に作業に取り組むことが大事で、信頼関係が最も大切なことだと学びました。
- ・身だしなみでは、毎日しっかりとした服装をしていることは信頼関係が築けている合図であると分かり、身だしなみの大切さを学ぶことができました。コミュニケーションでは、できるだけ分かりやすく、簡潔に説明することが大切だと学ぶことができました。
- ・普段経験することのないことを経験できたり、仕事の大変さやコミュニケーションの取り方などインターンシップを通して、これからの自分の将来に活かすことのできることを沢山学ぶことができたのでよかったです。

(3) インターンシップフォーラムに参加した、来年度インターンシップを控える1年生のアンケート結果

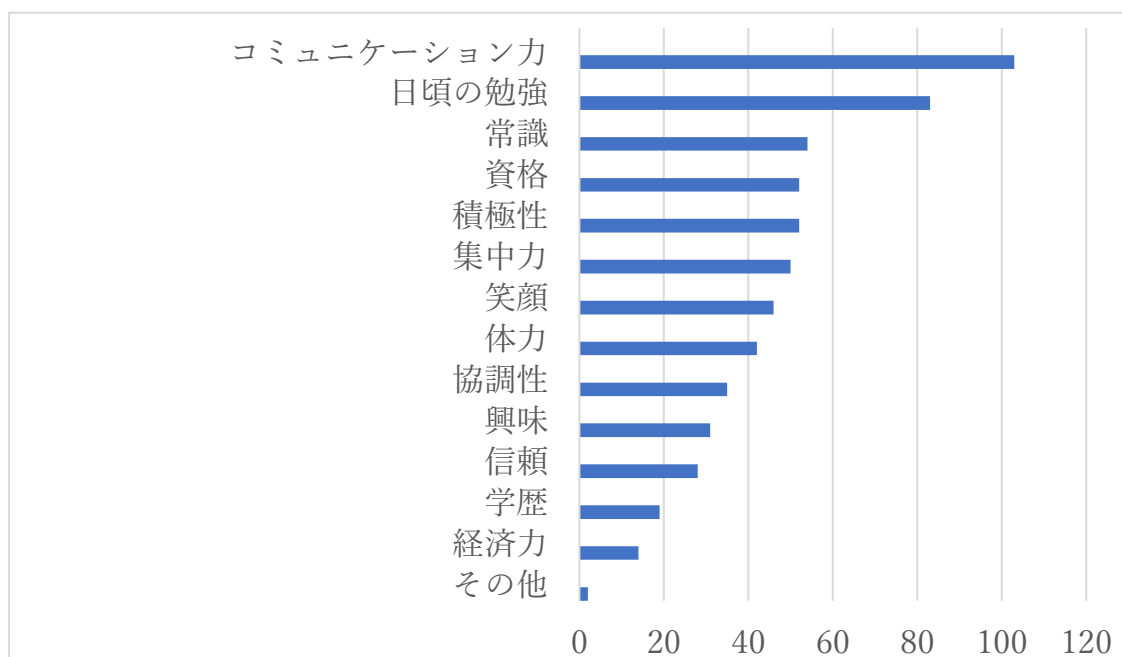
ア インターンシップを体験する気持ちについて イ インターンシップに参加すると進路決定に役立つと思いますか



ウ フォーラムへ参加して学習への意欲と関心ができましたか



エ フォーラムに参加してこれから自分に何が必要だと感じましたか（複数回答可）



(4) 事業所様からの所見

事業所の方々から大変多くのお褒めのお言葉や御指導、御助言をいただきました。ありがとうございました。抜粋して掲載させていただきます。

実習中において、関心を持ちながら担当者の話に耳を傾けていた。質問も積極的に行えており、理解を深めようという姿勢が伺えた。

会話は苦手だが、こつこつと根気強く物事に取り組む姿勢は好感が持てます。

初めは一人での就業体験で不安で寂しかったと思いますが、担当者の方と交流していく中で熱心にメモをとり、元気よく返事をして積極的な態度を示してくれました。

元気も良く、自分の考えをしっかりと発言でき、作業にあたる姿勢、準備ができており素晴らしいです。

社員とのコミュニケーションが必要な場面では、自ら積極的に声掛けする姿が印象的でした。日々の学校での実習等の自らの経験を基に、真剣に取り組むことができていました。

凄く大人しく物静かですが、素直に教えてもらった事を器用にこなしていました。1日中なれない立ち仕事なのに1日も休まず頑張っておりましたので、指導した者も感心しておりました。

初日の挨拶からしっかりしており、最後まで積極的に作業に取り組めていました。終始落ち着いた雰囲気の中で安心して作業を任せる事ができました。

しっかりメモをとる姿が好印象でした。又、コミュニケーションをとろうと意識してがんばってくれていた点も、社会人として、改めて見習いたいと思います。

5日間の職場体験を通じて、ただ作業をこなすだけでなく作業する上での責任感や正確に作業することがお客様の安心につながっているということを自ら学びとり、最終日の報告会では素晴らしい発表をしていただきました。

(5) まとめ

インターンシップ支援地域連携協議会を中心に、商工会議所、行政機関、工業団地等の積極的な協力の下、今年度も福知山市、綾部市、舞鶴市、丹波市、宮津市の事業所で受入をしていただきました。計 94 事業所様の御協力により、無事に実施する事ができました。受入事業所様におかれましては、本校の教育活動に御協力いただき、また生徒一人一人のために親切かつ丁寧な御指導をしていただき大変感謝しております。

事業所様からの所見では、受け答えがしっかりできているなど、基本的なコミュニケーションがとれているというお褒めの言葉を多くいただきました。また、作業に対して真面目にこつこつとよく取り組む姿勢に感心していただく一方、少しおとなしい面や、声が小さいなどの課題も伝えていただきました。こうした点は来年度への課題として、改善するための指導を検討し、お褒めいただいた点は更に良くなるよう、学校全体で生徒の資質・能力の向上へと繋げていく所存です。

来年度就職や進学を控える生徒にとって、社会経験を積む貴重な機会となり、進路決定の指標の一つとさせていただくこともできました。生徒たちは、働くということはどういうことなのか、仕事選びをする上で大切にしたいことは何かなど本当に多くのことを学ばせていただきました。今回のインターンシップで出た成果と課題を踏まえ、社会で生きていく力を身につけるべく、今後の学校生活の中で十分に指導していきたいと考えております。